

私は震える手で、手紙を巻き収めて、再び封の中へ入れました。⑩私はわざとそれをみんなの目につくように、元のおり机の上に置きました。そうして振り返って、眸にほとばしっている血潮を初めて見たのです。

問一 傍線部①「それ」の内容を、三十字以内で答えなさい。

問二 傍線部②とあるが、これと逆の心を端的に表現した一文を探して、はじめと終わりの五字を書け。

問三 傍線部③とあるが、「進む」「よす」とは何についてのことか。説明せよ。

問四 傍線部④とあるが、この「感じ」はどのようなものであったのか。簡潔に説明せよ。

問五 傍線部⑤とあるが、「私」はどのようなことを感じたのか。説明した次の文に当てはまる適語を指定された字数で本文から抜き出せ。

〔① 四字〕という取り返しのない事態が、私の〔② 二字〕を暗いものにするということ。

問六 傍線部⑥とあるが、なぜ「私はがたがた震え出した」のか。説明しなさい。

問七 傍線部⑦とあるが、「私」の何を「忘れることができ」なかったのか。何にあたる語を本文から三字で抜き出せ。

問八 傍線部⑧について、どのようなことだと考えられるか。説明した次の文に当てはまる適語を指定に従って答えよ。

Kを〔① 五字以内〕ことを〔② 三字〕言葉。

問九 傍線部⑨は、何について「抽象的」だといふのか。十字以内で答えよ。

問十 傍線部⑩にはKのどのような思いがこめられているか。説明せよ。

問十一 傍線部⑪について、

(1) なぜ「私はわざとそれをみんなの目につくように」置いたのか。その理由を説明せよ。

(2) ここには「私」のどのような面が表れているのか。五字以内で答えよ。

問十二 手紙にはなぜ死を選んだとあるのか。五字以内で抜き出せ。